



そのすべての^{かく しん}核心にあるもの、No. 6:

^{かみ}神の^{すく}救いの^{けい かく}計画、パート2

「そのすべての^{かくしん}核心にあるもの、No. 5: 神の^{かみ}救いの^{すく}計画、パート1」では、^{かみさま}神様の^{せつめい}あがないの^{がいねん}計画がどのようなものなのかを説明する4つの概念について見てきました。それは、どのようにして^{わだしたち}私達が^{わがい}神様と^{じ ぶん}和解し、^{つみ}自分の^{はつ}罪への^{さだめ}罰から救われるかというものです。

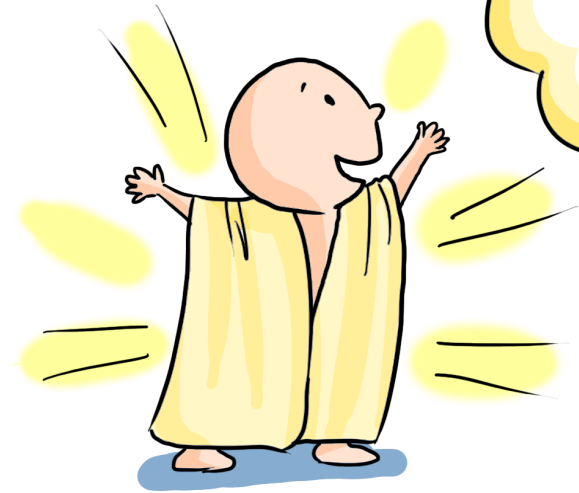
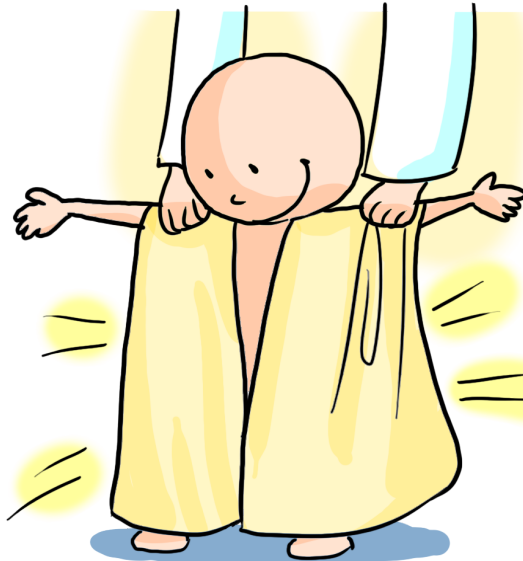
^{かみさま}神様の^{すく}救いの^{けい かく}計画の^{はい ごと}背後にある^{どう き}動機とは、^{わだしたち}私達への^{あい}愛です。その^{かみ}愛は、^{み こ}神の^{さま}御子イエス様が、^{つみ}私達の^{いのち}罪のために^{ささ}命を^{くだ}捧げて^{あき}下さったことで、^{あき}明らかに^{した}されました。

イエス様の^{さま}犠牲的な^{き せい てき}死によって、^{かみさま}神様と^{わだしたち}私達との^{かんけい}関係が^が変わりました。

イエス様の^{さま}死と^し復活^{ふっかつ}から^{しょう}生じた^{じゅうよう}3つの^{けつ か}重要な^ぎ結果^ことは、^{み ぶん}義と^{さす}されること、^{ざいせい}子としての^{み ぶん}身分を^{さす}授けられること、それに^{さいせい}再生です。



ぎ 義とされること



新約聖書で「義とする」と訳されているギリシャ語の言葉は、「ディカイオー」です。その定義の一つは、「誰かが義であると宣言する」ことです。義とするとは、私達が義であると神様が認め、そう宣言して下さるという意味です。だからといって、救いの贈り物を受け取った人が、罪のない存在になるわけではありません。義とするとは、私達の罪がイエス様の上に置かれてイエス様のものとしてみなされると同時に、イエス様の義が私達の上に置かれ、神様からは、イエス様の義が私達の義とみなされるということです。

これはすべて、神様の業であり、私達の働きによるものではありません。このゆるしと義を受けるに値する者となるために、私達にできること、成し遂げられることは、何一つないのです。私達への愛ゆえに、神様は、私達が神様から見て義と映るようになる道を作って下さいました。それは、私達の行いや善行によらず、ただ神の恵みと憐れみと愛によるものです。それは愛の贈り物であり、神様にとっては代価の大きいものですが、私達にとっては無料でいただくものなのです。

あなたがたの救われたのは、
実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。
決して行いによるのではない。それは、
だれも誇ることがないためなのである。
口語訳聖書、エペソ人への手紙 2:8-9

クリスチャンとして、罪を犯すことはあっても、キリストの義を持っているという立場が変わることはありません。
救いを受けるに値するために十分なことをしただろうかと、神様に十分近くいるだろうかと、疑問を感じる必要は、
もはやありません。神様がすでに、その全てをして下さったからです。イエス様の死と復活によって、私達は今も
これからも、神様から見れば義なのです。

罪を犯したなら、それを悔いて神様のゆるしを求め、誘惑に耐えられるように強くなろうと努力する必要があります。
とは言っても、罪によって救いや義認を失うことはなく、「もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は
真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる」のです。

(ヨハネの第一の手紙 1:9)

いけない！



まだあるぞ。



ごめんなさい。

どうか、おゆるしを。



こ　　み　ぶん　さず 子としての身分を授けられること

イエス様の犠牲によって神様の目には義と認められるということの他に、救いによる、
もう一つの大きな変化があります。それは、私たちの神様に対する立場や、神様との関係です。
罪によって神様と隔てられることがなくなるので、神様との関係が変わるのです。私たちは、
神様の家族の一員、つまり、神様の子となります。

彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を
与えたのである。口語訳聖書、ヨハネによる福音書 1:12

神の子として神の家族に加わることは、「子としての身分を授けられる」
(養子とされる)と呼ばれます。神の家族の一員としての関係ができるのです。
私たちの父親は、神様です。

あなたがたはみな、キリスト・イエスにある信仰によって、
神の子なのである。口語訳聖書、ガラテヤ人への手紙 3:26

私たちは今、ちょうど子どもが愛にあふれた父親と触れ合うように、
神様と触れ合うことができます。これは、旧約聖書の時代や今までに
存在していた関係よりも、はるかに親密なものです。





父親^{ちちおや}としての神様^{かみさま}に対する親近感^{たいしんきんかん}や、神様が私達^{わたくしたち}に抱^{いだ}いている愛^{あい}は、イエス様が御自身^{ごじしん}の父^{ちち}について話^{はな}しておられることにも表^{あらわ}れています。

空^{そら}の鳥^{とり}を見る^みがよい。まくことも、刈^かることもせず、倉^{くら}に取りいれることもしない。それなのに、あなたがたの天^{てん}の父^{ちち}は彼ら^{かれ}を養^{やしな}っていて下^{くだ}さる。あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者^{もの}ではないか。口語訳聖書、マタイによる福音書 6:26

このように、あなたがたは悪い者^{わるもの}であっても、自分^{じぶん}の子供^{こども}には、良い贈り物^{よおくもの}をすることを知^しっているとすれば、天^{てん}にいますあなたがたの父^{ちち}はなおさら、求^{もと}めてくる者に良いものを下^{くだ}さらないことがあろうか。口語訳聖書、マタイによる福音書 7:11

神様^{かみさま}は私達^{わたくしたち}を、御自身^{ごじしん}の家族^{かぞく}に迎^{むか}え入^いれたり養子^{ようし}にしたりされなくてもよかったのに、そうして下^{くだ}さいました。養子縁組^{えんぐみ}とは、その子^こを迎^せえ入^われ、世話^{せわ}し、愛^{あい}するという義務^{ぎむ}のない人^{ひと}が、そうすることを選^{せん}択^{たく}するという、愛^この行^{こう}為^いです。神様^{かみさま}は、私達^{わたくし}が立派^{りっぱ}で素晴^{すば}らしいからといって、あるいは神様のため^{せんぎょう}に善行^{ぜんぎょう}を積^つんだからといって、私達^{わたくし}を養子^{えんぎ}にして下^{くだ}さるわけではありません。私達^{わたくし}を愛^{あい}しておられるから、養子^{えんぎ}にして下^{くだ}さるのです。

さい せい 再生

イエス^{さま}様の死と復活^{し ふっかつ}が信者^{しんじや}の人生^{じんせい}にもたらした、もう一つのものは、再生^{さいせい}です。再生とは、靈^{れい}的な変化^{へんか}であり、
新しく造^{つく}られた者^{もの}になることです。

聖靈^{せいれい}は、あがなわれた人^{ひと}の罪^{つみ}深い性質^{せいかつ}を変^かえ、靈^{れい}的な変化^{へんか}をもたらし^{あたら}します。新しいクリスチャンは、この新生^{しんせい}という
新^{あら}たな土台^{どだい}の上^{うえ}に、靈^{せい}的生活^{いかつ}を築^{きず}き始め^{はじ}め、そこ^{そこ}から成長^{せいちよう}するのです。



新しく生まれること、つまり靈^{れい}から生まれることは、
救^{すく}いの大きな要素^{おお ようそ}です。イエス^{さま}様は二コデモに、
それなしには、神^{かみ}の国^{くに}を見ることも、そこ^{そこ}に入ることも
できない、と^い言^いわれました。

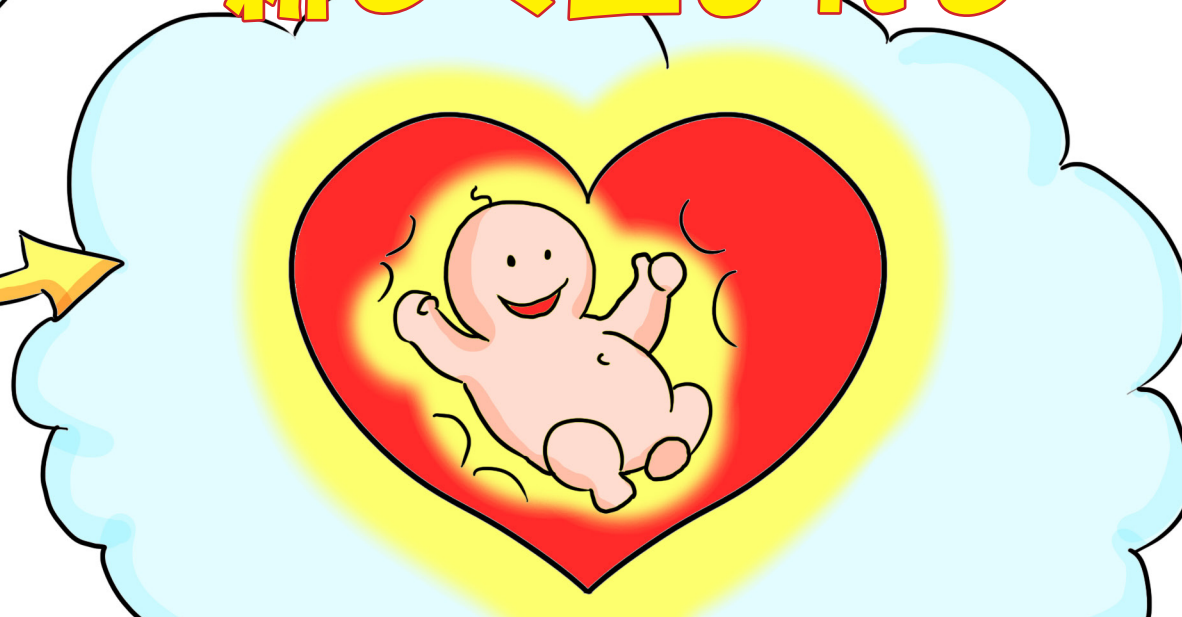
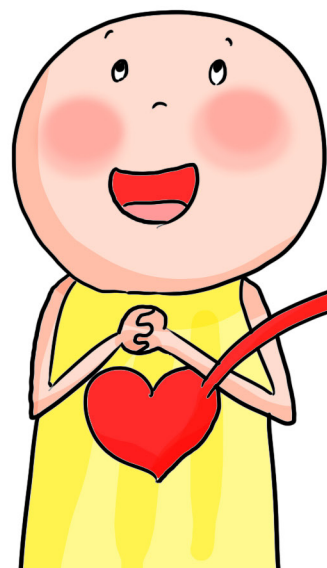
この生まれ変わりは、イエス様のあがないの犠牲を信じて受け入れた結果です。イエス様が自分の救い主であることを信じて受け入れるときに、その人は生まれ変わります。その変化を感じる人もいれば、感じない人もいますが、その変化は起こっています。イエス様を信じたので、神から生まれた者となったのです。

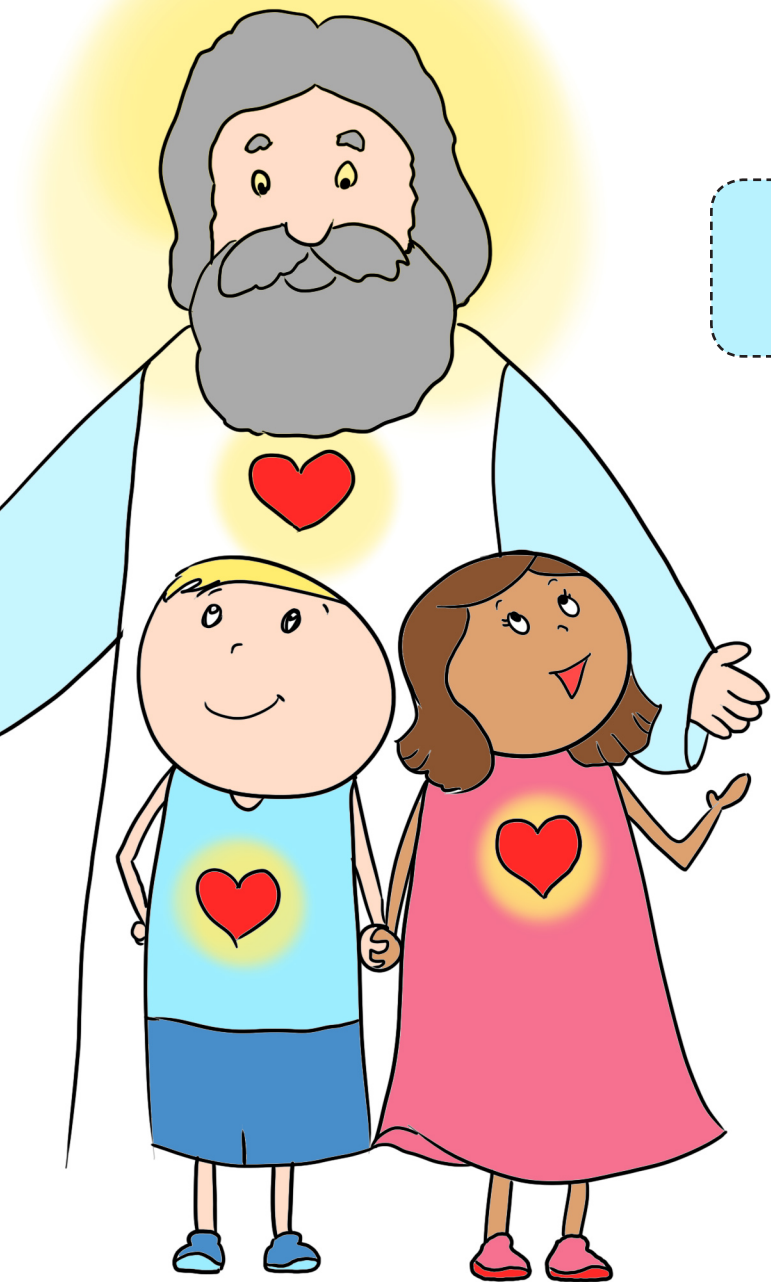
だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。口語訳聖書、コリント人への第二の手紙 5:17-18

真の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。エペソ人への手紙 4:24

信じます！

あたら
新しく生まれる





し と さいせい せいれい はたら の
使徒パウロも、再生は聖霊の働きであることを述べています。

わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け……。口語訳聖書、
エゼキエル書 36:26

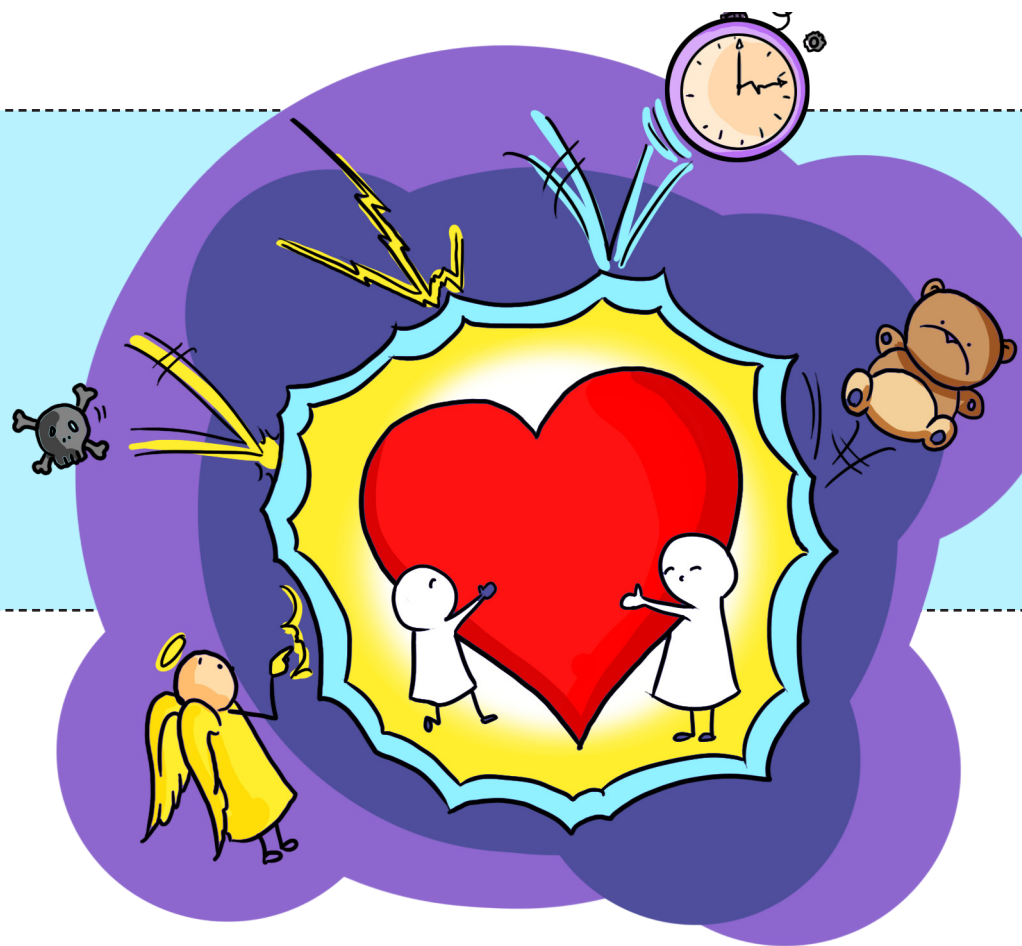
かみさま あいじょうが すく けいかく わたしたち ぎ
神様の愛情深い救いの計画は、私達を義として、神様の目から見て義と映るように
してくれました。

- わたしたち ようし かみ こ
私達は、養子として神の子となりました。
- かみさま か ぞく いちいん へだ
私達は、神様の家族の一員となり、もはや神様から隔てられてはいません。
- えいえん すく ほが やくぞく そうぞく もの
私達は、永遠の救いや、その他の神様が約束されたものを相続する者となりました。
- あたら う つく
私達は、新しく生まれ、新しく造られた者になりました。

これらの^{かすかす}散々の^{きちょう}貴重な^{おく}贈り物^{もの}は、^{おお}大きな^ぎ犠牲^{せい}を^{はら}払って^{くだ}下さった^{かみさま}神様^{あい}の^{けつ}愛^がの結果であり、^{さま}イエス様^{わたしたち}が^{いのち}私達^{ささ}のために^{くだ}命^を捧げて^{くだ}下さったことの
結果なのです。こうして、^{わがい}私達は^な神様と^が和解^ができたのであり、^な何もかも、^がそれを変^かえることはできません。

わたしは^{かくしん}確信^しする。死^{せい}も生^{てん}も、天^し使^{はい}も支^{げんざい}配者^しも、現^{げんざい}在^しのものも
将^{しょうらい}来^{ちから}のものも、力^{ちから}あるものも、高^{たか}いものも深^{ふか}いものも、そ^たの他^たどんな
被^ひ造^{ぞうぶつ}物^{ぶつ}も、わたしたちの^{しゅ}主^{しゅ}キリスト・イエス^{かみ}における^{あい}神^{かみ}の愛^{あい}から、
わたしたちを^ひ引き離^{はな}すことはできないのである。口^{こう}語^ご訳^{やく}聖^{せい}書^{しょ}、
ローマ^{びと}人^{てがみ}への手^て紙^{がみ} 8:38-39

^{わたしたち}私^{わたし}達^{たち}のために^{くだ}ここまでして^{くだ}下さるほど、^{かみさま}神^{じん}様^{らい}が^み人^{じん}類^{るい}を^あ深^あく愛^{あい}して
おられることを、^{しん}真^りに^{がい}理^り解^{かい}し、^{がんしゃ}感^{かん}謝^{しゃ}する^{こと}が^{こと}が^{こと}できますように。



寄稿：チェルシー・サラ、ピーター・アムステルダムによる著作の編集 絵とデザイン：松岡陽子

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2015年、ファミリーインターナショナル “Heart of It All, No. 6: God’s Plan of Salvation, Part 2”--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 神、そのすべての核心にあるもの、イエス様、救い